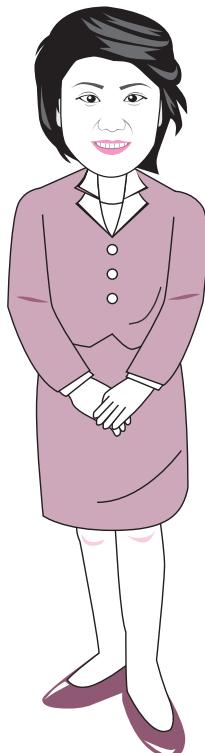


NEWS ニュースレター LETTER 2020 春号



現職 4 期目 (小倉北区選出)

～ごあいさつ～

新型コロナウイルス感染により、緊急事態宣言が福岡県にも発令され、皆様におかれましては、日常が変わってゆく様々なご不便をおかけし不安を感じていることと存じます。

医療・介護に携わっている皆様は、昼夜問わず現場で奮闘下さっています。心よりの感謝です。

外出制限の中での負担感は、日に日に増しています。しかしながら今は国難です。ご理解頂き、工夫しながらどうかもうしばらくご辛抱下さい。

私は市議会議員として、国・県そして北九州市長には、経済対策を含め、子育て世代の皆様への思い切った独自政策を講じるよう緊急要望しています。対コロナに対する国の緊急経済対策 108 兆円はかなり充実しており、金融機関の対応も早いと聞いています。先の見通しが見えない今の状況は、とても不安でしょうが、国政府も初めての経験、未曾有の危機です。

今後あらゆる雇用の形態に対応できる複数の補正予算を立てること等を要望してまいります。また、全国民に公平にいきわたる緊急給付金についても求めてまいります。

私どもができることは家にいて、決して感染を広げないことしかありません。乗り切りましょう！ご家族とご自身の命を守るために！！

北九州市議会議員 奥村 よし子

<新型コロナウイルスの相談は>

- ◆風邪の症状、37.5度以上の熱が4日以上続く
- ◆ご高齢の方・基礎疾患がある方、妊娠中の方は、こうした症状が2日程度続く
- ◆強いだるさや息苦しさがある
- ◆帰国者・接触者

北九州市 ☎ 093-522-8745 (24時間受付)

※聴覚障害のある方は FAX: 093-522-8775

◆不安がある場合など一般的なお問い合わせ

厚生労働省相談窓口

☎ 0120-565-653 (フリーダイヤル)

9時～21時 (土・日・祝日も実施)

※聴覚障害のある方は FAX: 03-3595-2756

新型コロナウイルス集団発生防止に
ご協力ををお願いいたします。

密をさけましょう

- ① 嘘起の悪い密閉空間
- ② 多数が集まる密集場所
- ③ 間近で会話や発声をする密接場所

※3つの条件がそろう場所が
集団感染するリスクが高い

感染を減らす工夫

- ①こまめな手洗い・うがい
- ②マスク着用 (口・鼻を覆う)
- ③不要な外出、人込みは避ける
- ④共同で使う物品は消毒を行う

など、心がけましょう

日常の心構え

自分の身は自分で守る…日常の健康管理
(十分な食事・睡眠等、規則正しい生活を)
⇒自身の体調の変化に十分注意

家の過ごし方

外出自粛中にできる健康対策

(読売新聞さんの記事より抜粋)

*ストレスの解消

- ・料理・体操・ヨガ・散歩
- ・音楽鑑賞・DVD 鑑賞・読書

*食事と栄養

- ・ビタミンDを補給
(サーモン・干しいたけ等)
- ・体重は「維持する」
- ・一日3度、規則正しく
- ・朝食でたんぱく質摂取

*適度な運動

- ・タオルを使ったストレッチ
- ・腹筋、太もも・お尻の筋肉を鍛える
- ・歩く力維持に座って足踏み

北九州市議会議員 奥村よし子 事務所

〒803-0851 北九州市小倉北区木町3-12-12-2F (JR南小倉駅前)

TEL093-562-4450 FAX093-562-3330

北九州市議会 自民の会

〒803-0813 北九州市小倉北区城内1-1

TEL093-582-2656 FAX093-582-1302

議員在籍15年 本会議質問要旨

質問事項はすべて市の施策に反映され、実施・拡充・見直しを実現しました

① 平成17年3月

- ・中学校給食の実現を・学校及び児童の安全確保・青少年のシンナー及び喫煙対策
- ・客引き迷惑行為の防止対策・魅力ある商店街づくり
- ・子育て支援の拡充・区役所ワンストップ窓口の設置

② 平成17年9月

- ・ごみ処理問題について・モラルマナーアップの取り組み・地域活動補助金について
- ・食育基本法の周知・子育てふれあい交流プラザと子どもの館の充実について

③ 平成18年3月

- ・通学路の安全確保と小学生の放課後対策・子育て支援策の拡充・教育行政・
- ・健康マイル事業の実施・配偶者暴力相談支援について

④ 平成18年9月

- ・教員の人事異動方針とは・子どもを育てる10か条の普及・男女共同参画について
- ・子育て応援企業団体に表彰を・元気な高齢者の生きがいづくりについて
- ・公園に健康遊具の設置を（勝山公園第一号設置）

⑤ 平成19年6月

- ・子ども家庭に特化した部局の設置・スクールヘルパー事業・光化学スモックについて
- ・食育に対する意識の向上

⑥ 平成20年9月

- ・中学校完全給食の実施・市の財政状況を家計に置き換えたわかりやすい公表を
- ・暮らしの道事業について・ワークライフバランスの推進・女性活躍推進本部の設置
- ・子どもの館改修事業・迷惑行為防止巡視員の役割と体制

⑦ 平成21年9月

- ・女性副市長の役割と後任について・生活保護行政の現状と担当職員の増員
- ・モラルマナーアップ関連条例・まつ毛エクステについて・防災対策強化

⑧ 平成22年9月

- ・旦過地区再開発事業の進捗・新競技場の整備を早期に・子宮頸がんについて
- ・子どもの虐待について・夏休み中の出校日に平和祈念学習充実を

⑨ 平成23年3月

- ・黒崎地区の中心市街地活性化基本計画の推進・城野地区ゼロカーボン先進街区の進捗
- ・中心市街地共同住宅供給事業補助の増額・住宅リフォーム助成制度・コムシティ再生
- ・消防団員確保のための企業等に対する協力要請
- ・住宅火災警報器の設置状況

⑩ 平成23年6月

- ・消防団員の入団促進の取り組み
- ・市消防局熊谷出張署廃止問題について
- ・東部地域における特別支援学校の整備について
- ・新若戸道路の共用開始進捗
- ・クールミストの普及促進
- ・スクーデントシティを活用した体験学習の実施を





⑪ 平成24年12月

- ・放課後児童クラブの充実・小中一貫連携教育の重要性・老朽空き家廃屋の対策
- ・私立幼稚園における保育補助員助成の拡充・迷惑行為防止対策

⑫ 平成25年9月

- ・老朽家屋除去促進事業の充実・紙おむつの処理現状とリサイクル研究の可能性

⑬ 平成25年12月

- ・北九州市成人祭を厳粛な成人式にすべき・放置自転車対策及び駐輪場の整備拡充
- ・客引き行為について・スクールヘルパー制度拡充・子育て支援制度の強化

⑭ 平成26年3月

- ・北朝鮮拉致事件（市民である加藤久美子さんの拉致事件に対する市としての役割について）

⑮ 平成26年9月

- ・土砂災害対応と今後の整備・空き店舗の有効活用に関する補助金の利用促進
- ・女性活躍推進について・学校における防災教育について

⑯ 平成27年3月

- ・公立幼稚園のあり方検討会の進捗状況と今後の見通し・藍島にヘリポート設置
- ・通学路の危険ゾーンの改善（中井地区の信号機設置）

⑰ 平成28年3月

- ・北九州市農林水産振興計画と新プランの特徴・農業委員会における女性の役割
- ・北九州市成人式開催のあり方について・結婚活動の支援施策

⑱ 平成28年12月

- ・モノレールの駅名をイメージできる駅名に（平和通→魚町、旦過→たんが市場）
- ・防犯カメラ設置補助事業の拡大・平和資料館について・ICT産業の振興について

⑲ 平成29年12月

- ・保育園児の給食の充実・北九州市立高等理容美容学校について・選抜女子駅伝の今後
- ・市内イベントの効果的な連携情報発信について・市文化観光施設の回遊促進について

⑳ 平成30年9月

- ・災害時における妊産婦乳児避難所の設置を・児童虐待防止条例策定・
- ・市の一般会計に歳入となる宝くじの収益金及び購入促進について

＜北九州市子どもを虐待から守る条例策定＞

平成30年7月～議員主導によるプロジェクトチームを立ち上げ、座長を務める。

㉑ 平成30年12月

- ・自閉症及び発達障害、アスペルガー症候群について・特別支援学校の整備充実
- ・離島（馬島、藍島）への安定したLPガス供給の必要性

㉒ 令和1年6月

- ・発達障害児早期支援システム研究事業の推進・園外活動に使用する散歩ルートの安全確保
- ・小学校の運動会の時期と光化学スモッグの影響について

㉓ 令和1年9月

- ・乳幼児歯科健診の重要性と検診の促進・幼稚園における2歳児の受け入れについて
- ・スクールサポートスタッフの増員と充実

㉔ 令和1年12月

- ・乳がん検診の促進と検診できる機会の提供拡大・新生児聴覚検査事業について
- ・乳幼児液体ミルクの備蓄について・現場における熱中症対策について

㉕ 令和2年3月

- ・悪質な客引き行為についての対策と今後の方向性・虐待防止について
- ・親育ち教育プログラムの必要性について・閉塞感解消のため有料公園の無料開放を

北九州市 令和2年度当初予算4つの柱

本市の未来を切り拓き、新たな市民ニーズや行政需要に対応するため、「4つの柱」を重点的に推進

- ① 文化・スポーツの振興などによるまちのにぎわいの創出
- ② 人や投資の流れを加速させる経済成長戦略の実行
- ③ 誰もが安心して住み続けられるまちづくり
- ④ 住みたいまちの実現

(令和2年3月27日議会にて可決したもの)

1 予算規模 5,703 億円 (前年度比▲41 億円)

- | | | |
|--------|--|--------|
| 令和2年度は | ○ 幼児教育・保育の無償化の通年実施 | +19 億円 |
| | ○ 国の経済対策を活用した2月補正への前倒しなどによる
投資的経費の減などの影響により、予算規模は微減 | ▲92 億円 |

2 歳入(主なもの) 2,989 億円 (前年度比 +26 億円)

- | | |
|----------|-----------------------|
| ○ 市税 | 1,762 億円 (前年度比 +8 億円) |
| ○ 地方交付税等 | 870 億円 (前年度比▲40 億円) |
| ○ 県税交付金 | 309 億円 (前年度比 +65 億円) |

歳出(主なもの)

- | | |
|--|------------------------|
| ● 人件費 | 1,121 億円 (前年度比 +5 億円) |
| ● 扶助費 | 1,472 億円 (前年度比 +26 億円) |
| ※幼児教育・保育の無償化の通年実施による増など | |
| ● 公債費 | 676 億円 (前年度比 +0 億円) |
| ● 投資的経費 | 539 億円 (前年度比▲92 億円) |
| ※令和元年度2月補正予算で一体的に計上した予算額111億円を含めると650億円(前年度比+20億円) | |
| ● 繰出金 | 470 億円 (前年度比 +20 億円) |
| ※高齢化の進展に伴う介護保険の保険給付費等の増など | |

3 財源調整用基金の取崩額

前年度と比較して7億円減少し、119億円(前年度126億円)となった
⇒ 対コロナで市独自の政策実現の為、基金取崩額も変更となる予定

上記の予算額は、令和元年度予算議会で可決したものです。緊急経済対策予算は反映されていません。
令和2年度は、大幅な歳入減(市税・交付税・交付金等)が予想されます。
今後、臨時議会により、隨時、補正される予定です。

奥村よし子経歴



- | | |
|-----------|---------------------------|
| ○平成17年 2月 | 初当選
環境教育委員会 |
| ○平成19年 2月 | 少子社会及び総合子育て対策特別委員会 副委員長 |
| ○平成21年 2月 | 2期目当選
北九州市社会教育委員 |
| ○平成23年 2月 | 建築消防委員会 委員長 |
| ○平成24年 3月 | 予算特別委員会 主査 |
| ○平成25年 2月 | 3期目当選
決算特別委員会 副委員長 |
| ○平成27年 2月 | 経済港湾委員会 委員長 |
| ○平成28年 1月 | 政令市女性議員の会 九州ブロック執行役員 |
| ○平成29年 1月 | 4期目当選
議会運営委員長 |
| ○平成29年11月 | 政令指定都市自民党女性議員の会 なでしこの会 会長 |
| ○平成30年 7月 | 北九州市子どもを虐待から守る条例プロジェクト 座長 |
| ○令和1年 5月 | 自民の会 幹事長 |

